

あきる野市刈寄谷地区市有林環境予備調査

報告書

平成 18 年 11 月

あきる野さとやま自然塾

1. 調査概要

1-1. 件名

あきる野市刈寄谷地区市有林自然環境予備調査

1-2. 調査目的

この調査は、地域の自然特性を把握し、評価するため、動物相、植物相・植生などについて調査し、動植物の保全及び土地利用を検討するための基礎とするべく実施する。なお、この調査は、調査期間、調査時期において不備な点が多々あるため、次年度以降実施予定の本調査に向けた予備調査と位置づける。

1-3. 調査地域

あきる野市市有林及びその周辺域

1-4. 調査期間

平成18年10月13日～平成18年10月31日

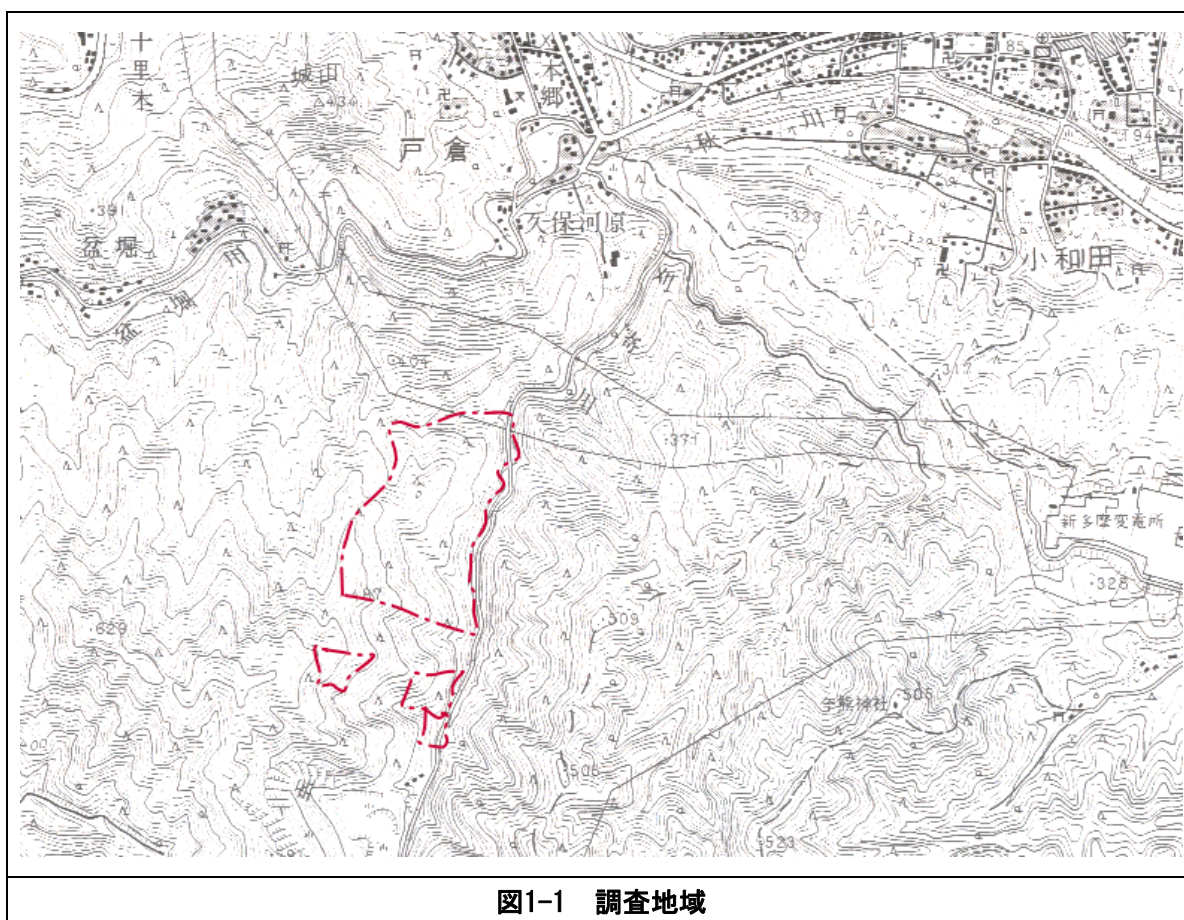


図1-1 調査地域

2. 調査方法

2-1. 調査項目

- ① 植物調査・・・植物分布、植物相
- ② 動物調査・・・哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、魚介類

2-2. 調査期日

調査は、平成18年10月13日～10月31日にかけて実施した。調査期日を表1-1に示す。

表2-1 調査期日

項目	日時	10月						備考
		13日	22日	28日	29日	30日	31日	
植物調査		○			●			
哺乳類調査			○	●		○	○	
鳥類調査			○				●	
両生・は虫類調査			●		○			
魚介類調査			●		○			
昆虫類調査			○	●	○		○	

● 計画書に基づく調査 ○ 任意に行った調査

2-3. 調査方法

各調査項目における調査方法の概要を、表2-2に示す。また各調査の調査風景を、写真2-1に示す。

表2-2 調査方法の概要

項目		調査方法
植物	植物相	調査対象地域を踏査し、種子植物など主な植物相について把握する。
	植物分布	航空写真を基に下図を作成し、現地確認による相観法によって植生図を作成する。
動物	哺乳類	調査対象地域を踏査し、フィールドサインの発見や目視により生息する動物種を確認する。また、センサーカメラを用い生態記録に努め、哺乳類相及び重要種の生息状況について把握する。 なお、今回試験的に2ヶ所にマウスストラップを設置した。
	鳥類	ラインセンサス法（時速2km程度で調査ルートを歩き、種名等を記録する）及び観測地点を設定して調査する定点調査法により鳥類相及び重要種の生息状況について把握する。
	両性・爬虫類	調査対象地域を踏査することにより種の確認を行い両生・爬虫類相及び重要種の生息状況について把握する。
	昆虫類	スウィーピングやビーティングによる任意採集、ライトトラップ、ベイトトラップにより昆虫相及び重要種の生息状況について把握する
	魚介類	たも網やセルびんによる捕獲により魚介類相及び重要種の生息状況について把握する。

写真2-1 調査風景(1)

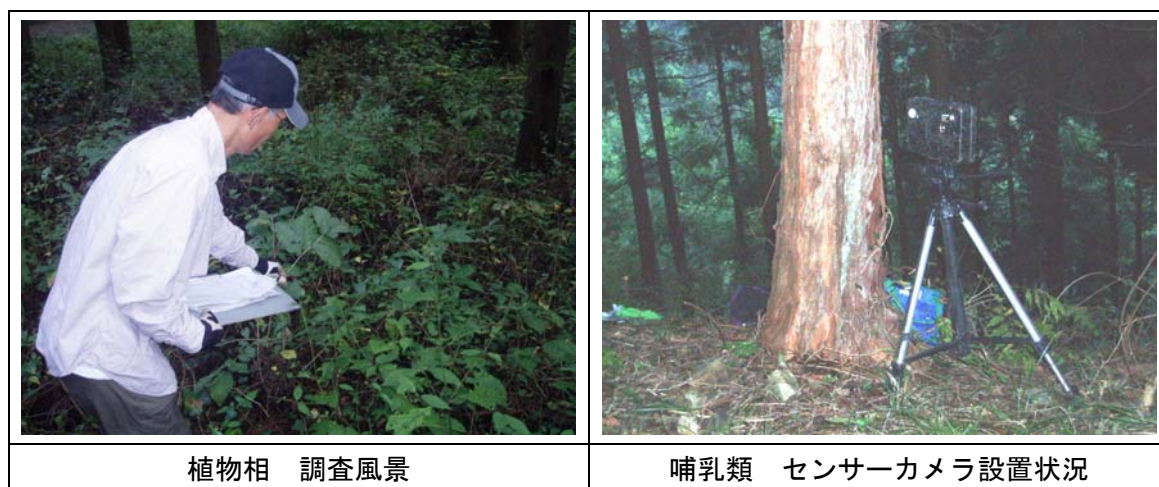


写真2-1 調査風景(2)

	
<p>哺乳類 マウストラップ設置状況</p>	<p>鳥類 調査風景</p>
	
<p>両性・爬虫類 調査風景</p>	<p>昆虫類 調査風景</p>
	
<p>昆虫類 ライトトラップ設置状況</p>	<p>魚介類 調査風景</p>

2-4. 調査地点

調査地域、及び調査地点を、図2-1に示す。

